

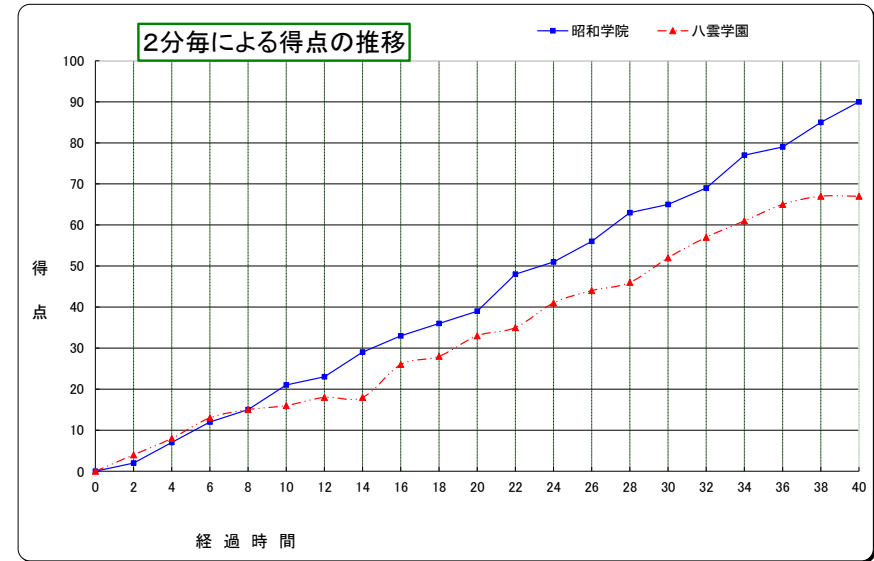
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月4日(日)
深谷ビッグタートル
準決勝

チームA 昭和学院 (千葉)	90	{	<table border="0"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>26</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>25</td><td>4th</td><td>15</td></tr> </table>	21	1st	16	18	2nd	17	26	3rd	19	25	4th	15	}	67	チームB 八雲学園 (東京)
21	1st	16																
18	2nd	17																
26	3rd	19																
25	4th	15																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	月松 蒼	11	1	6	3	10	2	2	3	3	3	3			
5	前田 珠涼	26	5	10	4	11	3	3		2	9	2	2		2
6	辻 菜々子	0													
7	石井 杏奈	17			6	13	5	5	3	4	1	2			1
8	山下 笑侖奈	20	2	3	7	13	0	1	2	4	3				
9	藤松 柚乃	13	1	5	3	11	4	5	2	2	10		3		2
10	長谷部 ころこ	1					1	2	4	2	3				
11	小崎 心花	0							1						
12	壽原 理彩	0													
13	大沼 華奈	0													1
14	赤尾 さやか	0													
15	濱裕 あかり	0													
16	藤原 花菜	2			1	2									
17	佐野 夢佳	0													
18	嶋田 百花	0													
コーチ	鈴木 親 光														
		90	9	24	24	60	15	18	15	17	29	7	5	0	6
		確率	37.5%		40.0%		83.3%			計 46					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	和田 月希	6	0	3	3	8			3		4	1		1	2
5	新井 日菜	7			3	6	1	2	4	2	2				2
6	中平 瑠音	0			0	1				1					
7	松崎 菜緒	7	1	5	2	4			2	1	8	1			3
8	DIOP SOKHNA	38			17	31	4	11	3	6	10				1
9	川名 漣	9	0	2	4	10	1	2	2	3	1			2	3
10	田中 椎紗	2			1	4			1	1	1	2			2
11	加藤 唯花	0													1
12	古矢 暖音	0													
13	渡辺 ハンナ	0													
14	川口 杏実	0													
15	増子 かのん	0													
16	三橋 凜花	0													
17	鈴木 成葉	0													
18	須永 美夏子	0													
コーチ	高木 優子														
		69	1	10	30	64	6	15	15	14	26	4	0	3	14
		確率	10.0%		46.9%		40.0%			計 40					



戦評

第1Q、両チームマンツーマンでスタート。序盤から昭和学院は激しいディフェンスから走るバスケットを展開し、#4や#5のドライブを中心に攻撃。一方、八雲学園は#4のミドルシュートや#8の高さを活かした攻撃で得点を重ねていく。その後は、昭和学院が#8のバスケットカウントやブザービーターのタップシュートなどで得点を伸ばし、21-16と昭和学院がリードし、第1Q終了。

第2Q、八雲学園は#4のミドルシュートで先制。すぐさま、昭和学院は#9のシュートで得点を取り返す。その後は両チームともリズムを掴めず、なかなか得点を奪うことができない。流れを変えたい昭和学院は激しいDFからミスを誘い、#4や#5のレイアップで連続得点を奪う。八雲学園は#8のポストプレーやリバウンドショット、バスケットカウントで追い上げを見せ、その後も得点を量産する。その後は昭和学院が#9のドライブや#8の3Pなどで得点を伸ばし39-33でリードを保ち第2Q終了。

第3Q、八雲学園#8の積極的なプレーで得点するが、昭和学院は#9の絶妙なアシストから#7のゴール下シュート、#8や#5の3Pが成功するなど着実に得点し突き離しにかかる。八雲学園はタイムアウト後、速い展開から#9や#7などが連続で得点し、必死に食らいついていく。その後は、一進一退の攻防を見せ互いに得点を重ねていく展開となる。昭和学院がリードを伸ばし65-52で第3Q終了。

第4Q、昭和学院は、#4、#5を中心にアップテンポな攻撃を展開し、#5や#8のシュートで突き離していく。八雲学園も必死にDFから攻撃に繋げ、#8のシュートなどで応戦するが、昭和学院は交代メンバーも活躍を見せ、簡単に八雲学園に攻撃を許さない。最終スコア90-67で昭和学院が勝利し、決勝進出を果たした。 文責:栗原規行

Ref	渡邊 諭	1st U	竹澤 友美	2nd U	藤林 比登美
-----	------	-------	-------	-------	--------